99-92

問題文

 1×10^{5} N/m 2 、107°Cで水素1.0molと酸素0.50molを反応させ、水(気体)を合成した。この反応に伴い 243klの熱が発生した。水素と酸素はすべて反応し、温度及び圧力は一定であった。

この反応に伴う内部エネルギー変化(kJ)に最も近いのはどれか。1つ選べ。ただし、気体定数R=8.31(Jmol $^{-1}$ K $^{-1}$)とする。

- 1. -360
- 2. -240
- 3. -120
- 4. 120
- 5. 240
- 6. 360

解答

2

解説

問題の反応を熱化学方程式で表すと

$$2H_2 + O_2 = 2H_2O + 243kJ$$

です。

熱力学第一法則より 内部エネルギー変化 $\Delta U=$ 熱 + 外部からの仕事です。熱は問題文より -243kJ です。 気体の仕事は 圧力 × 体積変化量で、圧力一定なので体積変化量について考えます。

気体の状態方程式 PV = nRT です。反応前の体積を V₁、反応後の体積を V₂ とおけば、化学反応式から V₂ = 2/3 V₁ です。仕事 = P((V₁) - (V₂)) = PV₁/3 とわかります。

一方、反応前の状態方程式より PV $_1$ = 1.5RT なので、PV $_1$ /3 = 0.5 RT です。0.5RT を計算すると 0.5 \times 8.31 \times 380 = 1578.9 J です。kJ になおすと 約 2kJ です。

よって 内部エネルギー変化 ≒ -243 + 2 となります。最も近い数字は -240 です。

以上より、正解は2です。